令和５年度「授業改善推進プラン」（全体計画）

板橋区立　高島第五小　学校

■児童・生徒の学力の状況

〇学習に意欲的に取り組むことはできる。しかし、互いの意見を交流したり、考えを深めたりすることに関しては意欲的とは言えない。
〇「全国学力調査」では、文章構成についての力がついていないことが分かる。またここ数年間のエリア打ち合わせにおいても言語に関する力が課題とされた。エリア共通めあてを「言語の力を上げてできたことを増やす」とし全ての教科等において指導にあたることが大切である。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題
※「読み解く力」の育成を踏まえて

〇学習規律（板橋区授業ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ）について共通理解をしているが、徹底が不十分な面も見られる。
〇「読み解く力」の育成を意識した授業を計画させる。
〇電子黒板やタブレット等ＩＣＴ機器の活用や映像教材の導入を積極的に図りながら指導方法や学習内容を工夫し、児童の興味関心、意欲を継続させていく必要がある。
〇発達段階に応じたノート指導について共通理解を図るようにする。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

〇「板橋区授業スタンダード」を徹底し、ＩＴＯの授業形態を全ての教室で実現させ、学力の向上を図る。
〇学習指導要領の趣旨を踏まえ基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る。
〇教育活動全般を通じ、「読み解く力」の指導に重点を置き、言語能力、問題解決能力など全ての学習の基盤となる力を育む。また、毎時間の授業の振り返りの徹底を図る。
〇適切な言語環境及び言語活動の充実や、ＧＩＧＡスクール構想の下、電子黒板、タブレット等ＩＣＴの活用を図り、一人ひとりの興味関心に沿った自主学習を中心にプログラミング的思考を高めながらプログラミング教育を推進し、確かな思考力と判断力及び豊かな表現力を育成する。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点１ 板橋区授業スタンダードの徹底	視点２ 読み解く力の育成	視点３ 総合的な学習の時間との連携
〇課題設定（めあての掲示・明示）→情報収集→分析・考察(考える)→課題解決(振り返り)→新たな課題の設定、という学習の流れを定着させる。	〇読み解く力の育成を計画的に実施するよう、週案に「基礎的読解力」の６項目の記載をし、実践する。	〇各教科で培った学びを用いて、計画的に実施する。課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現の学習過程を繰り返すことで、探究的に学ぶ力を育てる。

■いたばし学び支援プラン２０２５の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のｉカリキュラムの活用	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
〇学びのエリアの４校で連携をとり、９年間を見通した学びを推進する。 〇開校５０周年をよい機会と捉え、学校や地域のあゆみを生活科・社会科・総合的な学習の時間等で学び、「ふるさと高５、ふるさと高島平」の郷土愛を育む。 〇緑のカーテン・ハーブガーデン作りを中心に、環境に対する見方や考え方を育成する。	〇各学年、各教科担当がそれぞれの視点でカリキュラムを見直すことで、学校の教育活動を教科等横断的に進める。 〇学習の内容によっては、世話人会やiCS委員会等、人材の活用をする。 〇成果を分析して改善を図ることで、教育の質を高め、子どもたちに必要な資質・能力を育む。	〇校内研のテーマ「主体的に問題解決に取り組み、根拠をもって発信できる児童の育成」を目指し、一人一台端末を活用した授業力の向上を図る。 〇電子黒板・デジタル教材・映像教材などを活用して、学習内容の理解や児童主体の学習形態の促進を図る。